

息もつかせぬダーティハリー第2弾!
豪快アクションが連続炸裂!

必殺拳銃マグナム44がシスコに唸るとき
巨大な12の見せ場をひっ下げて
燃えるハリーが帰ってくる!

Clint Eastwood
is Dirty Harry in
Magnum Force

Celebrating Warner Bros. 50th Anniversary
A Warner Communications Company

クリント・イーストウッド

テクニカラー / パナビジョン

ダーティハリー2

ハル・ホルブルック / ミッチェル・ライアン / デビッド・ソール / フェルトン・ベリー / ロバート・ウリック
監督 テッド・ポスト / 製作 ロバート・デイリー / 音楽 フロ・シフリン / 原作 ジョン・ミリアス
脚色 ジョン・ミリアス / マイケル・シミノー / マルバソ / カンパニー作品 / ワーナー・ブラザーズ映画

2月9日ロードショー

地下鉄東銀座下車
松竹セントラル (541) 2714

東急文化会館1F
渋谷 パンテオン (407) 7219

歌舞伎町
新宿 ミラノ座 (202) 1189

クリント・イーストウッド ダーティハリー2

〈ストーリー〉

市の労働組合組織を一手に牛耳るカルミネ・リッカが証拠不十分で殺人容疑を勝訴し、裁判所から人々の怒号の中を悠然と去った直後、完全武装した謎の警官に、白昼のシスコの下真中で射殺された。

この事件に突然乗り込んで来たのがダーティハリーの愛称でおなじみハリー・キャラハン刑事（クリント・イーストウッド）。犯罪捜査のやり方があまりに暴力的であるとの理由で、上役ニール・ブリッグス（ハル・ホルブルック）により殺人課から除籍されていたハリーだったが、この銃撃戦に猛然たるファイトをかき立てられた。

ブリッグスのイヤミに耐えて空港にパトロールしたハリーは、辺りのあわただしい様子に独特のカンを働かせ、事件をかぎつけた。案の定ハイジャックが勃発していた。パイロットになりすましたハリーは、胸のすく荒っぽさで事件を片づけると、あわてふためいてかけつけたブリッグスを横目に悠然と引きあげるのだった。

この夜、ハリーは親友のオートバイ警官チャーリー・マッコイ（ミッチェル・ライアン）と出会ったあと、射撃練習場へ行き、そこで四人の新米警官と顔を合わせた。ベン・デービス（デビッド・ソール）、ジョン・グライムス（ロバート・ウリック）、フィル・スイート（ティム・マセソン）、レッド・アストラカン（キップ・ニーベン）——クチバシはまだ黄色いが、いずれも陸軍の空挺部隊出身の正義感と闘志にあふれた若者たちである。その腕前はハリーも目を見はるほどだ。ハリーは若者たちに好感と、そして同時に直感的な疑惑を抱いた。……

リッカ殺しをきっかけのようにして、その後のこの市は殺人事件の続発となった。殺されたのはいずれも賭博、麻薬売春などに関係のある暗黒街の要人たちばかりであった。その間ハリーは、強盗団との銃撃戦など次々起こる事件をエネルギーにかたづけしていた。そしてついに、ハリーが殺人課へよび戻される日が来た。ハリーは独自の捜査を続け、ついに意外な犯人たちの姿をとらえた。だが、犯人たちもさるもの、ハリー愛銃・大型マグナム44を奪い、危機に追いつめた。もはやハリーの命は風前の灯かと思われた。だが、*

〈スタッフ〉

製作……………ロバート・デイリー
監督……………テッド・ポスト
脚色……………ジョン・ミリアス/マイケル・シミーノ

〈キャスト〉

ハリー・キャラハン……………クリント・イーストウッド
ニール・ブリッグス……………ハル・ホルブルック
マッコイ……………ミッチェル・ライアン

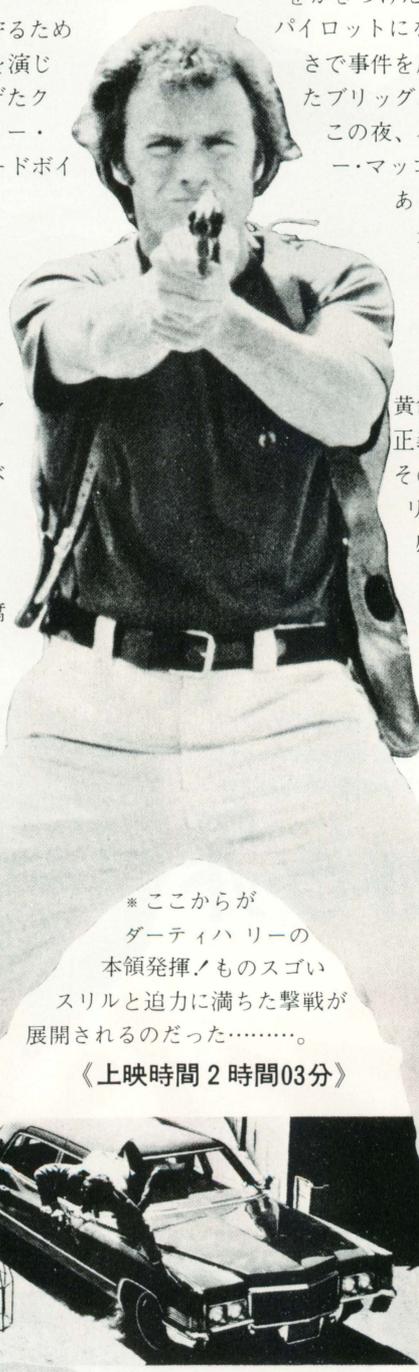
〈かいせつ〉

前作「ダーティハリー」で、社会主義を守るため暴力をもって立ち向う不死身の殺人課刑事を演じアメリカ映画に新しいヒーロー像を作り上げたクリント・イーストウッドが、再びおなじみハリー・キャラハンに扮して大暴れをみせる最新ハードボイルド・アクション大作である。

今回彼が敵にまわすのは同僚の警官たち。暗黒街の大口たちが次々に逮捕されては証拠不十分を理由に釈放されてしまうに義憤をおさえがたく、無力な法律に代わって自分たちの力で拳銃の制裁を加えようとする彼らの過激派警官に、ダーティハリーは単身立ち向って行くのである。

主演のイーストウッドを囲む共演陣は、ベテランのハル・ホルブルックに若手のデビッド・ソール、ロバート・ウリックたち。有名スターはすくないが、それだけに、現代アメリカ社会の退廃と同時に警察内部の腐敗をもあばこうとするこの作品のリアリティは、前作以上の迫力だということもできよう。監督は「続・猿の惑星」テッド・ポスト。

前作でハリー・ジュリアン・フィンクとリタ・M・フィンクが創造した暴力刑事ハリーの男性像をもとにジョン・ミリアスが新たにストーリーを書きおろし、それをマイケル・シミーノが脚本にした。ロケ撮影は前作と同様サンフランシスコを中心に行われ、大都会のメカニクな風光の中に血みどろなアクションの非情な効果をもり上げている。



*ここからが
ダーティハリーの
本領発揮、ものすごい
スリルと迫力に満ちた撃戦が
展開されるのだった……。

《上映時間 2時間03分》

